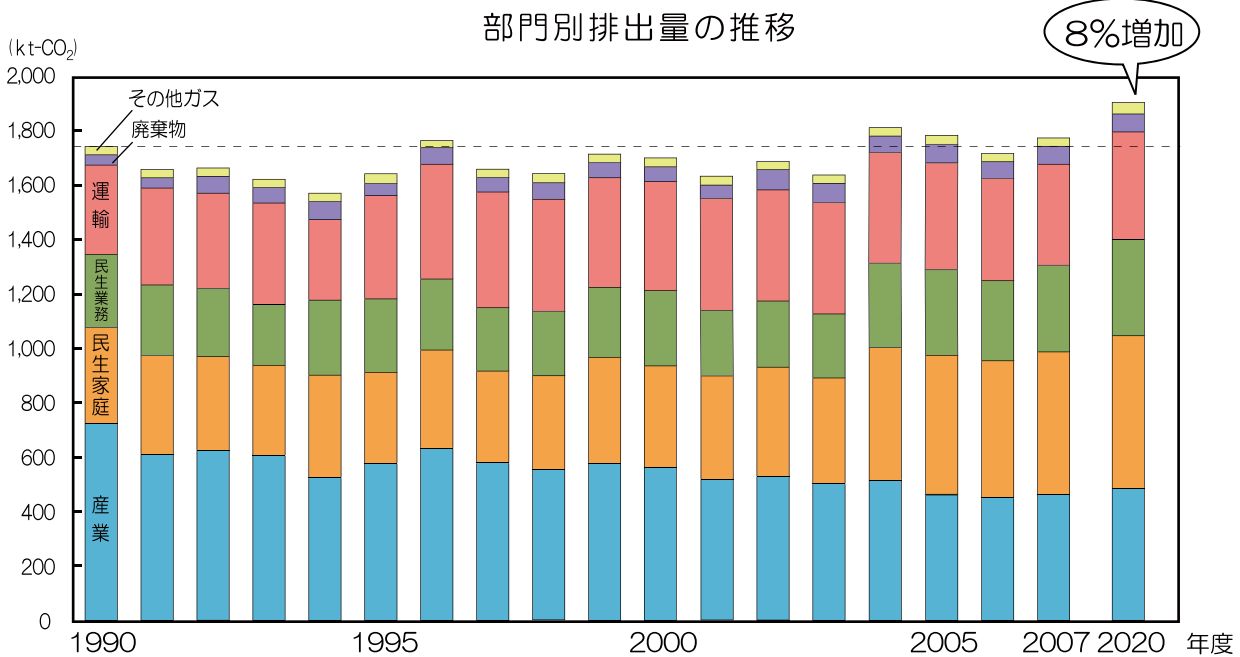


2. 西宮市の温室効果ガス排出量

西宮市の平成19年度（2007年度）の温室効果ガス排出量（CO₂換算）は1,765キロトンであり、平成2年度（1990年度）の排出量1,740キロトンに比べ1%増加（国全体では9%増加）しています。

部門別にみると、産業部門は減少傾向を示しています。家庭部門と業務部門を合わせた民生部門は増加傾向を示しており、その中でも特に家庭部門は近年大きく増加しています。

西宮市における今後の経過を予測すると、何も追加対策を行わない場合、人口の増加や経済活動の促進により2020年度には1,875キロトンと1990年度比8%増加することが推測されます。

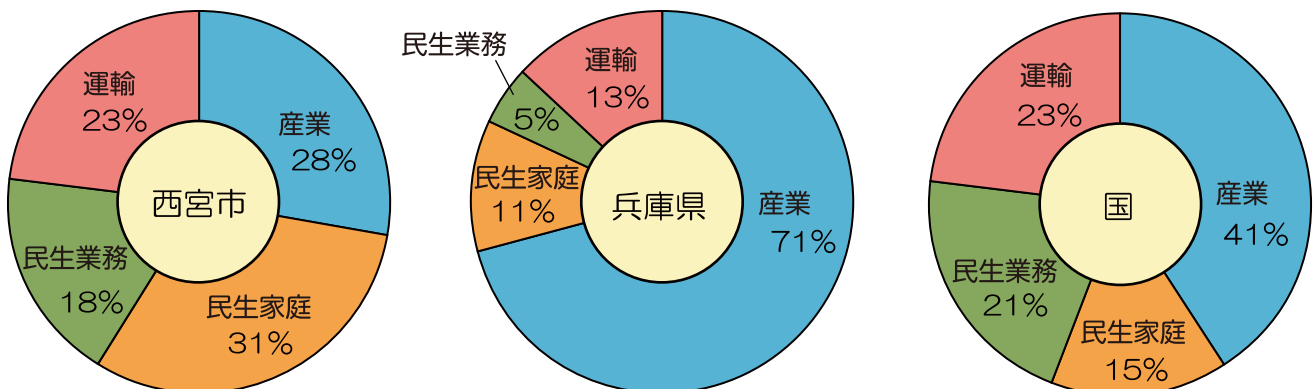


このままだと温室効果ガスは増えてしまうだね。



排出割合（県、国との比較）

西宮市は、国や兵庫県と比較して産業部門の割合が少なく、民生家庭部門が多くを占める住宅都市としての特徴があります。また、民生家庭部門の排出量は国や兵庫県と同じく増加傾向にあります。一人あたりや世帯あたりの排出量をみても増加傾向を示しています。排出量の増加は、ライフスタイルの変化が主な要因として考えられます。加えて、人口の増加がさらに排出量を増加させている要因になっています。



※いずれも2006年度の数値